

2018年4月10日 (火) 晴

越前勝山「小鹿山 (バンビライン)」

標高：比島 371.8m

単独行

コース距離： 5.8km、

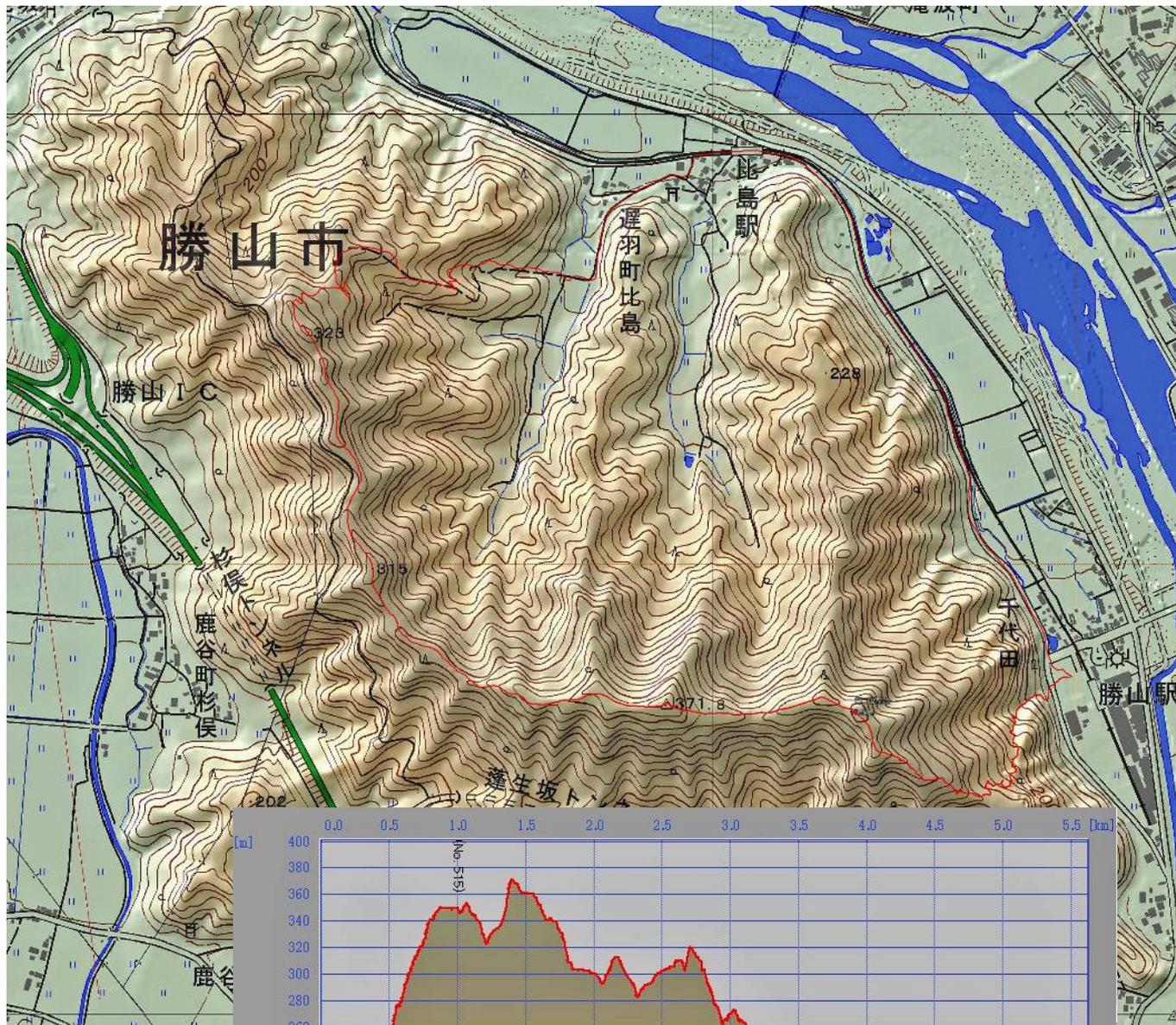
所要時間： 2時間57分 (休憩含む)

コースタイム： 駅前駐車場(9:27)→(9:45)第一展望台→(10:17)第二展望台

第二展望台【食事休憩】(10:51)→(11:01)三角点 (比島) →

(11:40)比島観音→(12:03)下山口→(12:06)比島駅→(12:23)駅前駐車場

* 山行軌跡



* 行程グラフ



山行記： 朝の起きるのが遅れて出発予定を過ぎている、出発準備をして車に乗り込み6時20分頃出発この時間からは道が混みあうので高速を利用して行く事にして大山崎 I Cから高速に入り福井北から中部縦貫自動車道で勝山インターで降りて勝山駅前駐車場に。

登山準備をして9時27分駐車場を立つ、すぐ前がバンビーライン登山口である登山道は急登で前日から早朝まで雨が降っていた様で泥濘で祭りの後で道は荒れていて滑りやすいので慎重に足を運びながら登って行く。

踏まれてカタクリの花が観られないがネコノメソウやミチノクエンゴサクが咲いている、高度を上げて行くとカタクリの花に出会うが雨に濡れて花弁は閉じた状態で期待外れで多くは有るが開いていないので群生の様子はない。

登山道でまだ桜が咲いている、鯖江の文殊山と比べると勝山は大分気温が低い地域でカタクリと他の花が同時に見られる所の様だ。

登るにつれてカタクリの花も花弁を反り返し咲いている物も出てきているが多くは閉じた物ばかりで残念な状況である。

第二展望台からは、雪を頂く経ヶ岳・法恩寺山から取立山や大日山も見渡せる、ベンチも設置されて朝食も摂らず出てきたのでベンチに座り食事休憩を摂る。

食事を終えたところに二組の登山者が登って来られた、二組とも先に行かれ追いかける様に歩きはじめる、ここまで来るとカタクリの花はなく灌木の隙間から展望しながら進み一組は先に行かれ一組は追い抜いて行く。

地図を確認すると何歩も来ていない、三角点も登山口から遠く離れていないアップダウンを二回繰り返し登りきった先に三角点があったが此処からは周りが灌木に囲まれ展望は出来なかった。

アップダウンを繰り返し送電線に出会って先の323m地点を過ぎると右折して比島観音方面に下りて行く、御堂が有るが扉は閉められて観音堂は見られなく下山して行く。

下山口より先を行くとえちぜん鉄道の線路わきに出る、単線の線路わきの道を歩き比島駅の前を通り勝山駅を目指して歩いて行き12時23分駅前駐車場に帰り着く。

大野市の乾地区の「矢ばなの里」にカタクリの群生地があるので観に行き、群生地へは協力金を求められ支払って見に行く、よく整備されてカタクリが群生している滋賀のマキノとは比べ物にならない、花は小鹿山に比べると小さいが一般的に見る大ききで堪能出来た。



駐車場前の登山口



ミチノクエンゴサク



ネコノメソウ



スミレ



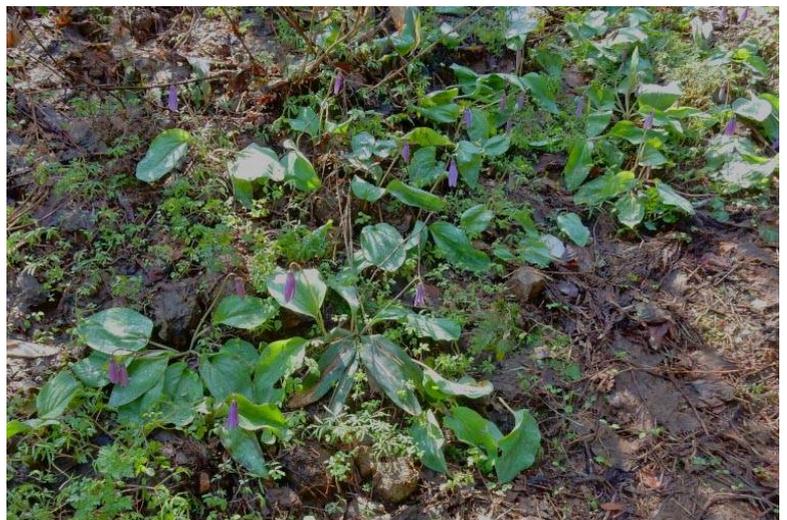
カタクリの花（花弁が閉じたまま）



カタクリの花（花弁が閉じたまま）



シクエンゴク・カタクリ
スミレ





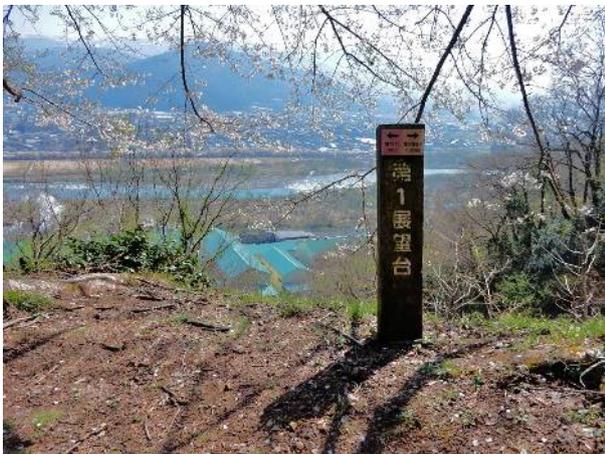
カタクリの花



さくらと残雪が有る登山道



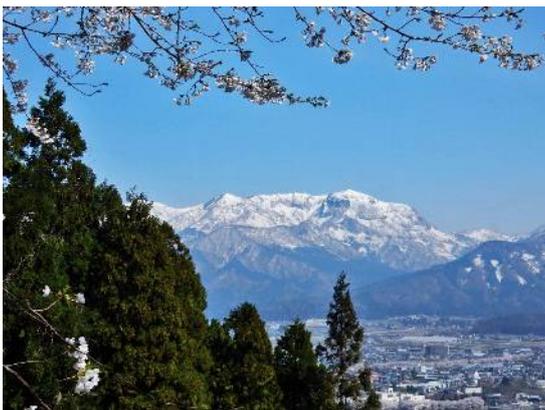
カタクリの花葉が他のとは



さくらが咲く第一展望台



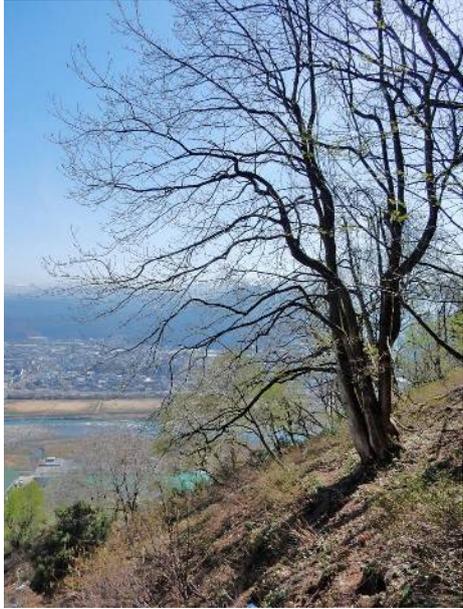
登山道に咲くカタクリ



大日岳



ミノコバイモ



イカリソウ



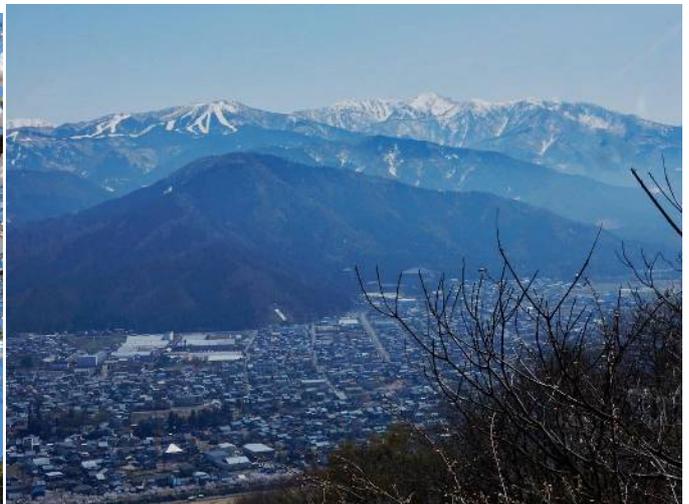
イカリソウ



スミレ



さくら



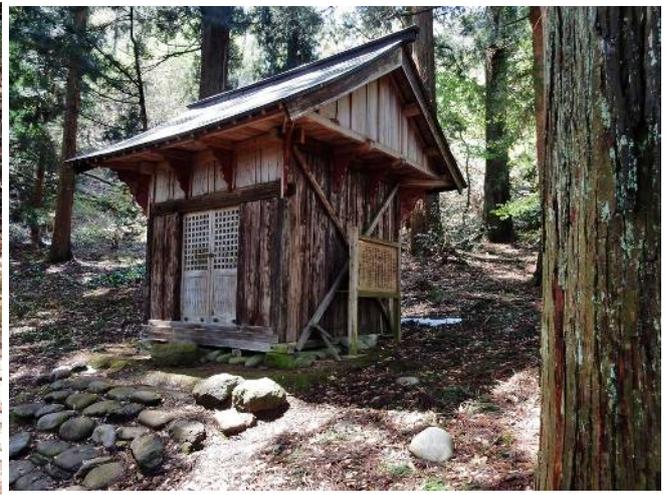
法恩寺山から経ヶ岳方面



第二展望台からのパノラマ



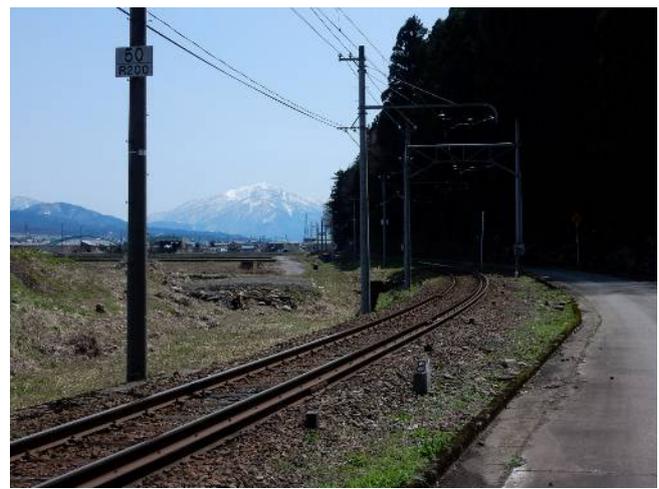
小鹿山三角点（点名：比島）



比島観音堂



えちぜん鉄道の比島駅



えちぜん鉄道の線路わきを歩く